

全日本山口県予選大会開催要項

表記大会を下記の要項で開催します
予選を行いません

1 場所 維新百年記念公園テニス場(砂入り人工芝)

2 日程(オーダー オブ プレイ)

	一般男子			一般女子		
7月7日(土)	9:00 F.B	No 1~32	1R 2R	9:00 F.B	No 1, 3 No 2, 3	
7月8日(日)	9:00		SF			

(※F.B(Followed by)前試合に引き続き開始)

※注 意

- ・ 天候・進行の都合(時間)により変更することがあります。
- ・ 原則として、1日に最高で4試合実施します。
- ・ 最終日になる種目は試合終了後に開始時間を確認して下さい。
- ・ 初戦敗者によるコンソレーションを行います。(状況により中止の可能性あり)

3 試合方式 8ゲームズプロセット・セミアドバンテージ方式(2回目のデュースはノーアドバンテージ)
SFより3セットマッチ(雨天等で変更もあります)
3タイブレークセット(ノーアドバンテージスコアリング方式)
コンソレーションは6ゲーム先取(ノーアドバンテージスコアリング方式)
一般女子はリーグ戦

4 試合球 ダンロップフォートイエロー

5 審判 セルフジャッジ(またはSCU)

6 ルール等

- ① 2018年度日本テニス協会ルール(テニスルールブック)を準用します。
 - ・ 遅刻に関しては、コード オブ コンタクトを適用します。(15分以上遅刻すると失格)
 - ・ 服装に関しては、コード オブ コンタクトを準用します。
 - ・ 携帯電話は、電源を切るかマナーモードに設定し、試合中使用してはいけません。
 - ・ セットブレーク・ルールを採用します。(第1ゲーム終了後とタイブレーク中は、休憩なしでエンドを交代)
- ② 運営は、オーダー オブ プレイに従い、進行板を使用して行います。(試合中は原則として放送はしない)
- ③ 試合前の練習は、3分間とします。
- ④ 若番の選手が本部にボールを取りに来て、所定のコートで待機してください。
- ⑤ 試合終了後コート整備をお願いします。
- ⑥ 勝者は、試合球、オーダープレートを持って、本部に結果を報告してください。
 - リーグ戦の順位決定方法は、「完了試合数」、「勝率」、「対戦」、「取得ゲーム率」、「得失ゲーム差」、「抽選」の順で行います。但し、勝率同率が3者の場合は、「完了試合数」、「取得ゲーム率」、「得失ゲーム差」、「抽選」の順とします。
 - コンソレーション希望の選手は本部に申し出てください。(試合終了後(30分)以内)
 - 3位決定戦を行います。
 - Jop対象大会です 選手でJopを取得する場合は、日本テニス協会の個人登録が必要です
 - 日本テニス協会に個人登録してある選手は申込用紙に登録番号も記載してください

7 注意事項

- ① 欠場してもエントリー代は徴収します。
- ② 小雨決行。決定は会場で発表します。
- ③ 大会期間中の事故、負傷については責任を負いません。
- ④ 体調が悪い場合は無理をせず棄権する勇気を持ってください。
- ⑤ ゴミ、空き缶、弁当殻等は放置せず、各自で持ち帰ってください。
- ⑥ 場内禁煙です。喫煙はコート外の所定の場所をお願いします。
- ※ コート使用が悪い場合はコートを借りれなくなります。ご協力をお願いします。
- NSの連絡先

NSの連絡は大会日の前日までにFAXまたはメール(携帯を含む)

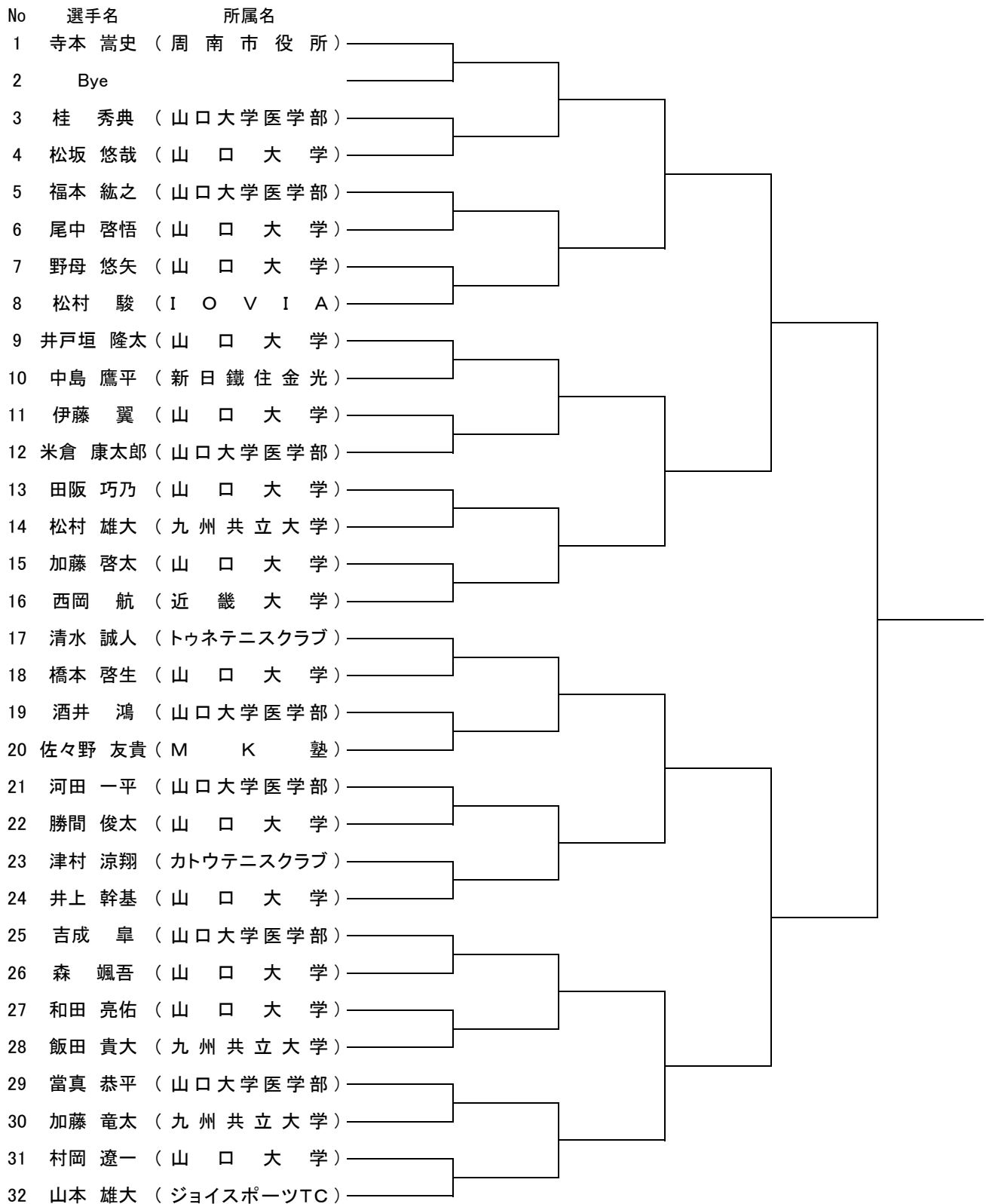
山口県テニス協会事務局	
FAX	083-923-0071
Mail	ypta@car.ocn.ne.jp

8 全日本テニス選手権西日本大会及び全日本大会

【期日・会場】

- 西日本大会 : 9月19日(水)~22日(日)(兵庫、ビーンズドーム)
 - ※ 一般男子、一般女子の県予選の優勝選手を県代表として推薦する。
- 全日本大会 : 10月24日(水)~11月4日(水)(大阪 鞆)
 - ※ 他の大会で、全日本出場資格を有する選手、あるいはその可能性がある選手は、そのことを競技委員長に連絡すること。いずれの場合でも、有資格者が優勝した場合は、準優勝者を補欠としてエントリーする。

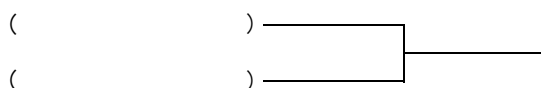
男子シングルス



Seeded Players

①寺本 嵩史 ②山本 雄大 ③~④井上 幹基、井戸垣 隆太 ⑤~⑧吉成 皐、清水 誠人、松村 駿、西岡 航

【3位決定戦】



第93回全日本テニス選手権山口
平成30年7月7日(土)8日
維新百年記念公園テニス場

女子シングルス

	田邊 彩乃	井上 愛梨	佐野 利奈	勝敗	取得ゲーム数	全ゲーム数	取得率	順位
1 田邊 彩乃 (M K 塾)		-	-	-				
2 井上 愛梨 (山 口 高 校)	-		-	-				
3 佐野 利奈 (山 口 大 学)	-	-		-				

試合順:1-3, 2-3, 1-2

チェアアンパイアがつかない試合方法(JTA TENNIS RULE BOOK)

◎ セルフジャッジの方法

プレーヤー・チームが判定とコールすることをセルフジャッジと言い、以下のとおり行なう。

- 1) サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンスする。
プレーヤー同士、アナウンスによってその時点のスコアを確認する。
- 2) ネットより自分側のコートについて判定とコールをする。ボールがラインにタッチした時、ボールとラインの間に空間が見えなかった時、あるいはボールを見失って判定できなかったときは「グッド」である。
ボールとラインの間に、はっきりと空間が見えた時は「アウト」「フォールト」を示し、手のひらを地面に向けて「グッド」を示す。
- 3) 判定とコールは、相手にはっきり分かる声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後速やかに行なう。代表的なハンドシグナルは、人差し指を出してアウト、フォールトを示し、手のひらを地面に向けてグッドを示す。
- 4) 「アウト」または「フォールト」とコールした直後に、プレーヤー自身が「グッド」と訂正した場合は、そのプレーヤーの失点となる。また「アウト」「フォールト」とコールし、レフェリーまたはロービングアンパイアによってオーバールールされた場合もそのプレーヤー・チームの失点となる。
~~ただし例外として、サーブされたボールがネットに触れたあとのフォールトを、「グッド」にオーバールールされた、あるいはプレーヤー自身が訂正した場合はそのサーブをやり直す。この場合に限って失点しない。~~
~~「グッド」の判定を「フォールト」「アウト」とオーバールールされた場合は、その「フォールト」「アウト」の判定が成立する。~~
- 5) ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。ただし、ネット、ストラップ、またはバンドに触れたサーブを、1人が「フォールト」パートナーは「レット(グッド)」とコールした場合は「(サーブの)レット」となる。
- 4) クレーコートでは、相手のプレーヤー・チームにボールマークの確認を要求できる。必要であれば、相手コートへ行ってボールマークを見ても良い。相手と判定が食い違った場合はレフェリーが最終判定をする。両者が示すボールマークの位置が食い違う場合、あるいは判定できるほどのマークが残っていない場合は最初のコールが成立する。ただし必要以上にBMIを申し出る選手には、レフェリーが適切な処置を取る場合がある。クレーコート以外はボールマークのチェックを行うことはできない。
- 7) サーブのレットはレシーバーがコールする。誤ってサーバーがサーブのレットをコールした時は、以下の判断がくだされる
~~①そのコールによって、プレーが停止された場合は、サーバーの失点。~~
~~②そのコールに、レシーバーが同意した場合は、サーブのレット。~~
~~③そのコールにかかわらず、プレーが続きポイントが終了した場合は、ポイントが成立する。~~
- 5) インプレー中、他コートからボールが入って来るなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。
- 6) インプレー中、プレーヤーがラケット以外の着衣・持ち物を相手コート以外の地面に落とした場合、それが1回目の時は、レットをコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直す。2回目以降、落とすたびにそのプレーヤーが失点する。
レットのコールは、落し物をしたプレーヤー・チームがコールすることはできない。相手プレーヤー・チームが妨害を受けたと判断した場合に限りコールできる。
ただし、落としたことがプレーに影響を及ぼしていない場合はポイントが成立する。
- 7) スコアがわからなくなった時は、双方のプレーヤーが合意できるスコアまでさかのぼり、それ以降のプレーで双方が合意できるポイントを足したスコアから再開する。合意できなかったポイントは取り消される。ゲームスコアがわからなくなった時も同様に処理する。

再開する時のエンドとサーバーは、合意されたスコアに準ずる。ただし、ゲームスコアが訂正され、再開する場合のサーバーは、次の順のサーバーに交代しなければならない。(同じプレーヤーが2ゲーム連続サーバーにはなれない。)

8) 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。

- ① 試合中、トイレ、着替え、ヒートルールなどでコートを離れる時
- ② 相手選手の言動やコール、フットフォールト等に疑問、不服がある場合
- ③ プレーヤー同士で解決できないようなトラブルが起こった時

9) メディカルタイムアウトを取りたい時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに申し出る。トレーナーのいない大会ではプレーヤー自身が手当てをすることができるが、レフェリーまたはロービングアンパイアによって、手当てを必要とする状態かどうか確認後、その許可を得て3分以内に処置を行う。

10) 試合終了後、勝者は大会本部に試合ボールを届け、スコアを報告する。

11) 各判定とコールをする権利者は以下の通りとする。

- a 「フォールト」「アウト」「グッド」はネットから自分側のプレーヤー・チームのいずれか
- b 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は両プレーヤー・チーム
- c 「フットフォールト」はコート内にいるレフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアのいずれか

12) オーバールール

「イン」「アウト」のオーバールールは巡回しているレフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアのいずれかが行える。

13) 妨害によるレットのコール

- a コート外からの妨害による「レット」のコールは両プレーヤー・チームができる。
- b 対戦相手による無意識の妨害(落し物1回目を含む)は妨害を受けたプレーヤー・チームのみ「レット」をコールできる。2回目以降は故意に妨害したとして失点する。
- c 対戦相手からの故意の妨害「ヒンダランス」は、妨害を受けたプレーヤー・チームからの申し出によりレフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアが判断する。
ただし妨害を認知しながら意識的にプレーを続行した場合は妨害と見なされない。

14) 誤ったコールを直ちに訂正した場合

インだったボールを誤って「アウト」とコール(ミスジャッジ)したが直ちに訂正(コレクション)した場合は、1回目は故意ではない妨害としてポイントレットにする。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショットまたはエースだった場合は、ミスジャッジをしたプレーヤー・チームの失点となる。そして、2回目以降は故意に妨害したとして失点する。

歴代優勝選手

年度	回	一般男子		一般女子	
1987	第62回	原野 一郎	エバース	林 勅使美	山口サングリーンTC
1988	第63回	原野 一郎	エバース	藤井 香織	東ソー
1989	第64回	原野 一郎	エバース	木下 庸子	いのうえTG
1990	第65回	磯金 徹	青山学院大学	藤井 香織	東ソー
1991	第66回	白木 泰雄	西京高校	藤井 香織	東ソー
1992	第67回	白木 泰雄	日本大学	藤井 香織	東ソー
1993	第68回	白木 泰雄	日本大学	大和 亜紀乃	三田尻女子高校
1994	第69回	白木 泰雄	日本大学	大和 亜紀乃	三田尻女子高校
1995	第70回	山本 裕輔	専修大学	大和 亜紀乃	桑陽クラブ
1996	第71回	長廣 成人	UGKTC	木下 庸子	うちやま
1997	第72回	長廣 成人	UGKTC	大和 亜紀乃	むつみクラブ
1998	第73回	日野村 剛	ふくいテニスクラブ	梅地 明美	広島経済大学
1999	第74回	日野村 剛	徳山LTC	藤井 香織	東ソー
2000	第75回	日野村 剛	徳山LTC	国重 香	松山大学
2001	第76回	岩田 法亮	中国電力	多田 伸子	徳山LTC
2002	第77回	岩田 法亮	中国電力	多田 伸子	徳山LTC
2003	第78回	長廣 成人	きらら	佐藤 直子	ふくいテニスクラブ
2004	第79回	丸山 祐二	山口大学	大形 悦子	徳山LTC
2005	第80回	丸山 祐二	山口大学	長 布紗子	豊浦高校
2006	第81回	丸山 祐二	UBE72テニスクラブ	長 布紗子	豊浦高校
2007	第82回	大西 竜彦	山口オーサンスTC	吉原 優子	西京高校
2008	第83回	大西 竜彦	山口オーサンスTC	吉原 優子	関西外国語大学
2009	第84回	丸山 祐二	UBE72テニスクラブ	吉原 優子	関西外国語大学
2010	第85回	大西 竜彦	山口オーサンスTC	吉原 優子	関西外国語大学
2011	第86回	大西 竜彦	レオーネ山口	伊藤 優香	亜細亜大学
2012	第87回	寺本 嵩史	徳山高専	篠原 絵美	関西学院大学
2013	第88回	山本 雄大	ジョイススポーツTC	篠原 絵美	関西学院大学
2014	第89回	寺本 嵩史	徳山高専	吉原 優子	西京銀行
2015	第90回	寺本 嵩史	徳山高専	前田 夢佳	日本大学
2016	第91回	岡野 裕樹	福岡大学	前田 夢佳	日本大学
2017	第92回	寺本 嵩史	周南市役所	森川 菜花	早稲田大学
2018	第93回				